（様式1）

■「公募番号」及び「公募研究開発課題名」は、公募要領「第2章 公募対象課題 2.1」の表より、転記してください。(【参考】e-Radより応募書類を提出する際にe-Rad画面上で「公募番号」を選択する箇所（「個別項目」のタブ）がありますので、この項目で記載したものと同一の公募番号を選択してください。)

**日本医療研究開発機構　エイズ対策実用化研究事業**

**研究開発提案書**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発課題名  （英語表記） | | | 日本語表記 | ○○に関する研究開発 |
| 英語表記 | Study of ○○ |
| 公募名（事業名） | | | | 令和6年度エイズ対策実用化研究事業公募 |
| 公募番号  （公募研究開発課題名） | | | | 例:　A01  例:（臨床試験開始に到達可能な新規治療ワクチンの開発研究） |
| 研究開発期間（全研究期間） | | | | 令和XX年 X月 X日 ～ 令和 XX年 X月XX日（X年間） |
| 研究費総額 | | | | 全研究期間での研究費総額（　X0.000千円）（間接経費を含まず） |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析 | | | | 実施する 　  実施しない  ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。 |
| 研究開発代表者 | 氏　名 | フリガナ | | ○○ ○○ |
| 漢　字 | | ○○ ○○ |
| ローマ字表記 | | ○○ ○○ |
| 性　別 | | | 男　女　 その他　  回答したくない ※いずれかに☑。 |
| 生年月（年齢） | | | 19XX年XX月（XX歳：令和6年4月1日時点） |
| 所属機関（正式名称） | 日本語表記 | | ○○法人○○大学 |
| 英語表記 | | University of ○○ |
| 所属部署（部局） | 日本語表記 | | ○○学部○○学科 |
| 英語表記 | |  |
| 役　職 | 日本語表記 | | 教授 |
| 英語表記 | | Professor |
| 研究代表者の情報（URL） | | | https://www.・・・・・・ |
| 研究開発代表者の研究歴  （主な職歴と研究内容） | | | | ヒト全ゲノムシークエンス解析については、公募要領「第3章3.2.7 データシェアリングについて」をご参照ください。実施する場合は、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式に記入し、ご提出ください。（この枠は削除してください） |

**注 提出する際には、青文字の記載例と緑色吹き出しの説明文を削除してください。**

|  |
| --- |
| **要約（和文）**  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。  ■A4縦1ページ以内  ■背景（今の状況がどのようで、何が求められているのか）、  目的（背景を受け、本課題を実施する目的）、  方法の概略（どのような方法を用いて、どのように研究を実施し問題を解決するか）、  概要を記載してください。 |

# １．研究の背景・目的

**【研究の目的・趣旨、必要性及び特色・独創的な点】**

（研究開発代表者が提案に至った独自の着想や独創性について、従来の研究動向では解決し得なかった課題点と対比し、記載してください。）○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■「１.研究の背景・目的」について、2ページ以内で、具体的かつ明確に、評価者が理解しやすいように、記載してください。必要があれば、図や表を用いても構いません。

**【研究開発期間中に何をどこまで明らかにするか（目標を明確に記載すること）】**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**【期待される成果】**

（目標を明確にするため、当該研究により期待される科学的成果及び当該成果によりもたらされる学術的・社会的・経済的メリットを具体的に記載してください。）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**【HIV/エイズ対策の推進に資する人材育成・活用について】**

（若手研究者登用の支援を申請する場合には、○○○○（若手研究者名）について、若手研究者育成計画書に基づき人材育成・活用を行う旨も記載してください。）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# ２．研究計画・方法

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■「１．研究の背景・目的」に記載したことを達成するための具体的な研究計画及び方法を記載してください。「３.研究の将来展望」とあわせて1ページ以内で記載してください。必要があれば、図や表を用いても構いません。

■研究計画を遂行するための研究体制について、「研究開発代表者」、「研究開発分担者」及び研究参加者等の具体的な役割を明確に記載してください。

■複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記載してください。

■臨床研究においては、基本デザイン、目標症例・試料数及び評価方法等を明確に記載してください。

# ３．研究の将来展望

（研究終了後の将来構想について、想定する波及効果やインパクト等を記載してください。）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■本研究開発構想が達成された場合に期待される、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等について、想定し得る範囲で記述してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# ４．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 現在の専門 | 令和6年度  研究経費※２  （千円） | エフォート  （％） |
| 生年月（年齢:令和6年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）  学位取得年 |
|  | 役職※1 | 分担研究開発課題名 |
| 研究開発代表者 | ○○ ○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
|  | △△△ | ○○の解析と創薬に向けた応用研究 |
|  |  | （主たる研究場所）※1  △□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 | ○○ ○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）  H15年 |
|  | □□□ | ○○モデル動物の開発と検証 |
|  |  | （主たる研究場所）※1  △□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | | | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、直接経費を記載してください。

※3　「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記載してください。e-Rad登録情報と一致させてください。

＜注意＞・研究開発代表者・研究開発分担者全員分を記載してください。

**・若手研究者登用費はここには含めないでください。**

・必要に応じて適宜、行を追加または削除してください。

# ５．実施体制図

■代表機関、分担機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。

■研究開発代表者・分担者別に、所属機関・氏名・分担研究開発課題名を記載してください。分担研究開発課題が研究開発課題の目的、趣旨に対しどのような役割を担うのかがわかるように図示してください。協力企業、主な外部委託先等がある場合はその役割と相互連携関係を明示してください。体制図が複数ページにわたる場合は要約図（1ページ）を作成してください。

**・協力企業**

**株式会社○○**

○○の測定

**1.研究開発代表者**

○○○○大学　○○ ○○

「○○の解析と創薬に向けた応用研究」

**4.研究開発分担者**

○○○○大学　○○ ○○

「○○関連解析」

**2.研究開発分担者**

△□大学　○○ ○○

「○○モデル動物の開発と検証」

研究指導

研究成果の共有

関連試料の提供

モデル動物の提供

遺伝子情報の提供

□□酵素の解析データ等提供

**1.研究開発代表者**

△△△△大学（主たる研究場所）　○○ ○○

「○○関連解析」

相互に情報を提供

**＜□□酵素の解析＞**

**3.研究開発分担者**

株式会社△△　○○ ○○

「遺伝子組換え□□酵素の精製法開発」

**5.研究開発分担者**

●●●病院　○○ ○○

「□□酵素の活性測定法の開発」

**6.研究開発分担者**

国立○○研究所　○○ ○○

「不活性化□□酵素の免疫及び抗体の精製」

□□酵素の提供

測定法及び

データの提供

□□酵素の提供

抗体の

提供

**６．研究開発の主なスケジュール**

■目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項

■項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。

※１頁以内で記載してください。

■PDF化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF化後に必ずご確認ください。

■A06-1に応募する場合は、5年間用（次ページ）の表を使用してください。

■使用しなかった表は削除してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）** | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究開発項目  ※マイルストーン | 担当者  氏名 | 第1年度  (R6年度) | | | | 第2年度  (R7年度) | | | | 第3年度  (R8年度) | | | | |
| 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| <1>○○関連解析 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・質量分析装置を用いたタンパク質同定法による△△の同定 | ○○ ○○ | → | → | → | → |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・○○の原因となる△△活性における□□の分析 | ○○ ○○ |  |  |  |  | → | → | → | → |  |  |  |  |
| <2>創薬に向けた応用研究 | ○○ ○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・○○関連解析、○○モデル動物の解析に基づく□□の△△に対する作用解析  ・レセプト情報分析等を用いた△△の疫学調査 | ○○ ○○ |  |  |  |  |  |  |  |  | → | → | → | → |
| <3>○○モデル動物の開発と検証 | ○○ ○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・△△欠損○○モデル動物（昆虫、線虫）を開発し、感染モデルを作成 | ○○ ○○ | → | → | → | → |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・△△欠損○○モデル動物（マウス）を開発し、性状を検証 | ○○ ○○ |  |  |  |  | → | → | → | → |  |  |  |  |
| ・○○モデル動物の□□の△△に対する作用を検証 | ○○ ○○ |  |  |  |  |  |  |  |  | → | → | → | → |
| <4> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <5> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <6> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

＜注意＞　必要に応じて適宜、行を追加または削除してください。

■A06-1（若手・女性推進課題）に応募する場合は、下表を使用してください。

■使用しなかった表は、削除してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 担当者氏名 | 第1年度  (令和6年度) | | | | 第2年度  (令和7年度) | | | | 第3年度  (令和8年度) | | | | 第4年度  (令和9年度) | | | | 第5年度  (令和10年度) | | | |
| 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| <1>○○関連解析 | ○○ ○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・質量分析装置を用いたタンパク質同定法による△△の同定 | ○○ ○○ | → | → | → | → |  |  |  |  | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → |
| ・○○の原因となる△△活性における□□の分析 | ○○ ○○ |  |  |  |  | → | → | → | → |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <2>創薬に向けた応用研究 | ○○ ○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・○○関連解析、○○モデル動物の解析に基づく□□の△△に対する作用解析  ・レセプト情報分析等を用いた△△の疫学調査 | ○○ ○○ |  |  |  |  |  |  |  |  | → | → | → | → |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <3>○○モデル動物の開発と検証 | ○○ ○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・△△欠損○○モデル動物（昆虫、線虫）を開発し、感染モデルを作成 | ○○ ○○ | → | → | → | → |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・△△欠損○○モデル動物（マウス）を開発し、性状を検証 | ○○ ○○ |  |  |  |  | → | → | → | → |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・○○モデル動物の□□の△△に対する作用を検証 | ○○ ○○ |  |  |  |  |  |  |  |  | → | → | → | → |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <4> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <5> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <6> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

＜注意＞　必要に応じて適宜、行を追加または削除してください。

**７．各年度別経費内訳**

■A06-1に応募する場合は、5年間用（次ページ）の表を使用してください。

■使用しなかった表は、削除してください。

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | | 中項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 計 |
| 直  接  経  費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |
| 3.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 小計 | |  |  |  |  |
| 間接経費  （上記経費の30%目安） | | |  |  |  |  |
| 合計 | | |  |  |  |  |

＜注意＞**・若手研究者登用費はここには含めないでください。**

・提案書の「４．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報」及び「別紙１ 提案時点の予定経費」の金額と記載を合わせてください。

**申請する若手研究者登用費**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請する人数 | 直接経費 | | | |
| R6年度 | R7年度 | R8年度 | 合計 |
| 1人 | 4,615 | 4,615 | 4,615 | 13,845 |

＜注意＞ 若手研究者の登用を申請する場合には、一人当たり年間6,000千円（間接経費を含む）を上限として、年度ごとの合計額を記載してください。

若手研究者の登用期間にあたり、対象となる研究開発課題の継続実施が認められ、かつ、当該若手研究者の

研究成果が良好と判断された場合、3年を上限として登用することが可能です。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | | 中項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | 計 |
| 直  接  経  費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 | |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費  （上記経費の30%目安） | | |  |  |  |  |  |  |
| 合計 | | |  |  |  |  |  |  |

■A06-1（若手・女性推進課題）に応募する場合は、下表を使用してください。

■使用しなかった表は削除してください。

（単位：千円）

＜注意＞**・若手研究者登用費はここには含めないでください。**

・提案書の「４．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報」及び「別紙１ 提案時点の予定経費」の金額と記載を合わせてください。

**申請する若手研究者登用費**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請する人数 | 直接経費 | | | |
| R6年度 | R7年度 | R8年度 | 合計 |
| 1人 | 4,615 | 4,615 | 4,615 | 13,845 |

＜注意＞ 若手研究者の登用を申請する場合には、一人当たり年間6,000千円（間接経費を含む）を上限として、年度ごとの合計額を記載してください。

若手研究者の登用期間にあたり、対象となる研究開発課題の継続実施が認められ、かつ、当該若手研究者の

研究成果が良好と判断された場合、3年を上限として登用することが可能です。

# ８．研究業績

■「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（概ね一人につき10～15編程度）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付してください。

■特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。

## （1）研究開発代表者　○○ ○○

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

・出願番号：特願2019-△△△△△△号、発明の名称：△□○病を予防するワクチン、出願日：20XX年XX月XX日（特許権残存期間：XX年XX月）

＜政策提言＞

・○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

## （2）研究開発分担者　○○ ○○

＜論文・著書＞

●M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Nature, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T.Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria………, Nature, 2019,10,45-54

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

・特になし

＜政策提言＞

・特になし

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

# ９．研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本研究開発課題の研究開発代表者の応募時点における、（1）応募中の研究費（国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。）、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

## （1）応募中の研究費（令和●年●月●日時点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】  申請者本人への配分予定額（直接経費）  （R6～R8・AMED） | ○○と△△の相関に関  する実験的研究  （○○○○） | 代表 | 10,000  [30,000] | 20 | （総額　90,000千円）\*  研究開発課題全体（直接経費）の総額  例）（10,000＋20,000（分担者ら））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R6～R7・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）  研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000  [6,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　20,000千円）\* |
| 令和6年度○○財団研究助成金（R6・○○財団） | ●●と□□の研究  上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載  （○○○○） | 分担 | 1,000  [1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

## （2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和●年●月●日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和6年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和4年度○○財団研究助成金（R4・○○財団 | ●●と□□の研究  （○○○○） | 代表 | 1,000  [1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R4～R6・AMED） | ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

＜注意＞（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## （3）その他の活動

エフォート：　50　％

＜注意＞教育、診療、社会サービス等のエフォートを記載してください。

■「その他の活動」は、「（2）採択されている研究費」に係るエフォートだけでなく、「（1）応募中の研究費」に係るエフォートも除いた値を記載してください。

■エフォートは、年間の全仕事時間を100%とした場合に必要となる時間の配分率（%）を記載してください。e-Rad登録情報と一致させてください。

# １０．これまでに受けた研究費とその成果等

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに代表者として受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究課題全体の研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

## 【研究開発代表者 ○○ ○○】

## （1）【AMED事業】

・AMED　エイズ対策実用化研究事業、R2～R4、「○○に関する研究」、40,000千円、代表者

××××の成果を得た。

・AMED　○○創薬実用化等研究事業、H30～R2、「○○に関する研究」、40,000千円、代表者

××××の成果を得た。点数8.8、平均点7.7、評価委員会により、計画を超えて著しく進捗と評価された。

## （2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（●）、H22～H24、「○○に関する研究」、40,000千円、分担者（本研究企画立案遂行を代表者と同等に主体的に行った）

××××の成果を得た。評価結果　A、○○に若干の問題は残しているものの、×××の開発は当初の目的を達成し十分な成果が上がったと評価された。

## 【研究開発分担者　○○ ○○】

**（1）【AMED事業】**

**（2）【それ以外の研究費】**

# １１．本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。なお、今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

（1）研究開発成果の実用化は、人類の福祉向上に資する一方、関係法令・倫理規範への適合や社会への受容が不可欠です。そのため、可能な限り早い段階から研究開発に関する倫理的・法的・社会的課題（ELSI：Ethical, Legal and Social Issues）を把握し、社会との間で論点の共有や対話を行うこと等により、研究開発からその成果の社会実装までを円滑に進めることが可能になると考えています。

①本研究開発課題において、研究開発及びその成果の社会実装に至るまでの倫理的・法的・社会的側面からの懸念やリスクについて記載してください。

②本研究開発課題において、研究開発の質向上と社会のニーズを満たす成果創出のため、患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組・方針等について記載してください。（※詳しくは公募要領第12章1項「医療研究開発の「社会共創」の推進」を参照）

## （1）ELSI、PPIについて

**①倫理的・法的・社会的課題（ELSI：Ethical, Legal and Social Issues）への対応について**

以下のa)～c)のいずれかの□にチェックを入れるとともに、a)又はb)については、その内容を簡潔に記載してください。b）は、検討中の内容で差し支えありません。

a) 倫理的・法的・社会的側面からのリスクを把握している。

b) 倫理的・法的・社会的側面からのリスクを整理中である。

c) 倫理的・法的・社会的側面からのリスクを把握・整理していない。

（記載例）

・本研究開発課題における○○については、……といった点が倫理的課題として指摘されている。この課題を解決すべく、○○について、……を通じて検討を行う。

・○○の実用化にあたっては、……といった社会的課題が想定される。そのため、研究開発プロセスを通じて、……の対応を行う。

・本研究開発課題で取り扱うテーマは、社会の理解を得つつ進めることが必要であるため、……を通じて研究開発の進捗状況を社会に広く発信するように努める。

・本研究開発課題の進捗や成果について、次世代を担う中学・高校生にも伝わるよう、……を行う予定である。

**②研究への患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）の取組について**

以下のa)～c)のいずれかの□にチェックを入れるとともに、a)又はb)については、その内容を簡潔に記載してください。b)は、検討中の内容で差し支えありません。

a) 患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組を行っている。

b) 患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組について検討している。

c) 患者・市民との対話や知見を取り入れるための取組・検討を行っていない。

（記載例）

・本研究開発課題の提案にあたっては、すでに●●の患者団体と意見交換を行い、本提案における……の点の改善につなげた。

・本研究開発課題にて行う○○の臨床試験のプロトコール作成にあたっては、……という点を明らかにすべく、○○患者との対話を行い患者や家族側の意見を取り入れる予定である。

・本研究開発課題の実施にあたっては、関係する患者・家族との対話により、●●●への期待や懸念、疑問点を抽出し、患者・家族の意見を取り入れながら研究開発プロセスを見直す方針である。

・本研究開発課題は、現時点で患者・家族等との対話を行える研究フェーズにないが、社会への情報発信に努める他、……について検討を行う予定である。

## （2）キーワード（疾患名以外、10単語以内）

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA世代など）、実験動物等、の具体名)

1.△△計測　　2.○○合成阻害剤　　3.　．．．．．．

## （3）対象疾患（10個以内）

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を10個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1.△△感染症　　2.○○病　　3.□□症候群　．．．．．．

**１２．【A06-1、A06-2（若手・女性推進課題）】公募対象者チェック欄**

**A06-1、A06-2（若手・女性推進課題）に応募しない場合は、本ページを削除してください。**

1. 応募条件チェック欄（全体）

A06-1、A06-2（若手・女性推進課題）に応募する場合は、該当する応募条件として申請するものについて、☑を入れてください。（令和6年4月1日時点の内容としてください）

応募条件については、公募要領の「2.2.1 公募研究開発課題」をご参照ください。

若手研究者の定義については、公募要領の「3.2.6若手研究者の積極的な参画・活躍について」をご参照ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 応募する  公募番号 | ✔欄 | 確認項目 |
| A06-1  (該当するものに✔) |  | 提案者（研究開発代表者）自身が女性研究者もしくは若手研究者である。  （女性研究者の場合は年齢を問わない） |
|  | 研究開発分担者に女性研究者もしくは若手研究者、あるいはその両方が含まれる。  （女性研究者の場合は年齢を問わない） |
| A06-2  (該当するものに✔) |  | [パターン①の応募条件(必須)] 提案者（研究開発代表者）自身が女性研究者である。 |
|  | [パターン①の応募条件] 研究開発分担者がある場合は、研究開発分担者にも女性研究者もしくは若手研究者が含まれる。（女性研究者の場合は年齢を問わない） |
|  | [パターン②の応募条件(必須)]　提案者（研究開発代表者）自身が若手研究者である。 |
|  | [パターン②の応募条件]　研究開発分担者がある場合は、研究開発分担者の半数以上が若手研究者である。 |

**A06-1、A06-2（若手・女性推進課題）に応募しない場合は、本ページを削除してください。**

（２）応募条件チェック欄（研究者毎）

A06-1、A06-2（若手・女性推進課題）に応募する場合は、研究開発代表者および分担開発研究者**全員分**の枠を作成し、該当する応募条件として申請するものについて、☑を入れてください。（令和6年4月1日時点の内容としてください）

必要な場合は枠を適宜増やしてください。

なお、採択後には必要に応じて、出産・育児又は介護の事実及び研究に専念できない期間があったことを証明する関係書類を提出していただく場合があります。

応募条件については、公募要領の「2.2.1 公募研究開発課題」をご参照ください。

若手研究者の定義については、公募要領の「3.2.6若手研究者の積極的な参画・活躍について」をご参照ください。

研究開発代表者：○○　○○

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種別 | ✔欄 | 確認項目 |
| 若手 |  | 満43歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者） |
|  | 上記以外で、博士号取得後10年未満の者（博士号取得日：○年○月○日） |
|  | 出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月） |
|  | 介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月） |
| 女性 |  | 女性研究者である |
| 上記以外 |  | 若手・女性研究者以外である  ＊ただし、公募要領「第2章 公募対象課題 2.2.1」に記載の公募研究開発課題A06-1、A06-2 における、応募条件にご留意ください。 |

研究開発分担者：○○　○○

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種別 | ✔欄 | 確認項目 |
| 若手 |  | 満43歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者） |
|  | 上記以外で、博士号取得後10年未満の者（博士号取得日：○年○月○日） |
|  | 出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月） |
|  | 介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月） |
| 女性 |  | 女性研究者である |
| 上記以外 |  | 若手・女性研究者以外である  ＊ただし、公募要領「第2章 公募対象課題 2.2.1」に記載の公募研究開発課題A06-1、A06-2 における、応募条件にご留意ください。 |

別紙1

**提案時点の予定経費**

■A06-1に応募する場合は、5年間用（次ページ）の表を使用してください。

■使用しなかった表は、削除してください。

1. 研究開発代表者・分担者別経費概要

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 機関機 | 第1年度(R6年度) | | 第2年度(R7年度) | | 第3年度(R8年度) | | 期間合計 | |
| 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費 |
| ○○ ○○ | ○○○○大学 | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | XX,XXX | XX,XXX |
| ○○ ○○ | △□大学 | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX |
| ○○ ○○ | 株式会社○○ | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XX | X,XXX | X,XXX |
| ○○ ○○ | ○○○○大学 | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX |
| ○○ ○○ | ●●●病院 | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX |
| ○○ ○○ | 国立○○研究所 | XXX | 0 | XXX | 0 | XXX | 0 | XXX | 0 |
| 合計 | | XX,XXX | XX,XXX | XX,XXX | XX,XXX | XX,XXX | XX,XXX | XXX,XXX | XXX,XXX |
| 総計 | | | | | | | | XXX,XXX | |

＜注意＞・研究開発代表者・研究開発分担者全員分を記載してください。

・若手研究者登用費はここには含めないでください。

・研究開発分担者の人数に応じて適宜、行を追加または削除してください。

・間接経費は、直接経費の30％以内の金額としてください（直接経費の30％を越えて設定することはできません）。

・採択決定後、研究者間での経費の配分変更は原則できません。

・採択決定後、間接経費率（原則整数値）を変更することはできません（30%を超える場合は修正いただきます）。

2. 若手研究者登用費 経費概要

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 機関名 | 第1年度(R6年度) | | 第2年度(R7年度) | | 第3年度(R8年度) | | 期間合計 | |
| 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費 |
| ○○ ○○ | △□大学 | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | XX,XXX | XX,XXX |

＜注意＞・申請する若手研究者の人数に応じて適宜、行を追加してください。

・間接経費は、直接経費の30％以内の金額としてください（直接経費の30％を越えて設定することはできません）。

・採択決定後、研究者間での経費の配分変更は原則できません。

・採択決定後、間接経費率（原則整数値）を変更することはできません（30%を超える場合は修正いただきます）。

・3年を上限として申請してください。

別紙1

■A06-1（若手・女性推進課題）に応募する場合は、下表を使用してください。

■使用しなかった表は削除してください。

**提案時点の予定経費**

1. 研究開発代表者・分担者別経費概要 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 機関名 | 第1年度  (令和6年度) | | 第2年度  (令和7年度) | | 第3年度  (令和8年度) | | 第4年度  (令和9年度) | | 第5年度  (令和10年度) | | 期間合計 | |
| 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費 |
| ○○ ○○ | ○○○○大学 | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | XX,XXX | XX,XXX |
| ○○ ○○ | △□大学 | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX |
| ○○ ○○ | ○○○○大学 | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX | XXX |
| ○○ ○○ | 国立○○研究所 | XXX | 0 | XXX | 0 | XXX | 0 | XXX | 0 | XXX | 0 | XXX | 0 |
| 合計 | | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | XXX,XXX |
| 総計 | | | | | | | | | | | | XXX,XXX | |

＜注意＞ ・研究開発代表者・研究開発分担者全員分を記載してください。

・若手研究者登用費はここには含めないでください。

・研究開発分担者の人数に応じて適宜、行を追加または削除してください。

・間接経費は、直接経費の30％以内の金額としてください（直接経費の30％を越えて設定することはできません）。

・採択決定後、研究者間での経費の配分変更は原則できません。

・採択決定後、間接経費率（原則整数値）を変更することはできません（30%を超える場合は修正いただきます）。

2. 若手研究者登用費 経費概要　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 機関名 | 第1年度(R6年度) | | 第2年度(R7年度) | | 第3年度(R8年度) | | 期間合計 | |
| 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費  (直接経費の30%目安) | 直接経費 | 間接経費 |
| ○○ ○○ | △□大学 | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | X,XXX | XX,XXX | XX,XXX |

＜注意＞ ・申請する若手研究者の人数に応じて適宜、行を追加してください。

・間接経費は、直接経費の30％以内の金額としてください（直接経費の30％を越えて設定することはできません）。

・採択決定後、研究者間での経費の配分変更は原則できません。

・採択決定後、間接経費率（原則整数値）を変更することはできません（30%を超える場合は修正いただきます）。

・3年を上限として申請してください。

別紙2

**研究開発全体の内容の概要図**

・「2. 研究計画・方法」を説明する上で必要な図表、あるいは提案する研究の概念図等を、1ページ以内で記載してください。

別紙3

**「６．研究開発の主なスケジュール」と記載内容が整合するよう記載してください。**

**担当別 研究開発概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 研究開発代表者 氏名 | ○○ ○○ |
| 所属機関・所属部署・役職 | ○○○○大学・△△△学部・教授 |
| 分担研究開発課題名 | ○○の解析と創薬に向けた応用研究 |

**＜分担研究開発課題における背景＞**

・研究開発提案書「1. 研究の背景・目的」の「研究の目的・趣旨、必要性及び特色・独創的な点」に記載した内容をふまえ、分担研究開発課題の背景※を記載してください。

※自身が担当する分担研究開発課題の目的を定めるにあたり考慮した科学的・社会的背景、それらの背景から目的を定めるに至った経緯を記載してください。

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**＜研究開発の目的＞**

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**＜研究開発の内容・方法＞**

1年度目（R6年度）

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2年度目（R7年度）

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

3年度目（R8年度）

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**＜年度別 研究開発項目の達成目標＞**

1.研究開発項目ごとに、マイルストーン（達成しようとする研究開発の到達点・達成事項）を記載してください。

2.本項の内容は、研究開発提案書「6. 研究開発の主なスケジュール」の内容と対応したものとしてください。

<1> ○○関連解析

1年度目（R6年度）　質量分析装置を用いたタンパク質同定法による△△の同定

2年度目（R7年度）　○○の原因となる△△活性における□□の分析

3年度目（R8年度）　2年度目で終了予定

<2> 創薬に向けた応用研究

1年度目（R6年度）　3年度目より実施予定

2年度目（R7年度）　3年度目より実施予定

3年度目（R8年度）　○○関連解析、○○モデル動物の解析に基づく□□の△△に対する作用解析

レセプト情報分析等を用いた△△の疫学調査

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2 | 研究開発分担者 氏名 | ○○ ○○ |
| 所属機関・所属部署・役職 | △□大学・△△△学部・教授 |
| 分担研究開発課題名 | ○○モデル動物の開発と検証 |

**＜分担研究開発課題における背景＞**

・研究開発提案書「1. 研究の背景・目的」の「研究の目的・趣旨、必要性及び特色・独創的な点」に記載した内容をふまえ、分担研究開発課題の背景※を記載してください。

※自身が担当する分担研究開発課題の目的を定めるにあたり考慮した科学的・社会的背景、それらの背景から目的を定めるに至った経緯を記載してください。

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**＜研究開発の目的＞**

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**＜研究開発の内容・方法＞**

1年度目（R6年度）

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2年度目（R7年度）

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

3年度目（R8年度）

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**＜年度別 研究開発項目の達成目標＞**

1.研究開発項目ごとに、マイルストーン（達成しようとする研究開発の到達点・達成事項）を記載してください。

2.本項の内容は、研究開発提案書「6. 研究開発の主なスケジュール」の内容と対応したものとしてください。

<3> ○○モデル動物の開発と検証

1年度目（R6年度）　△△欠損○○モデル動物（昆虫、線虫）を開発し、感染モデルを作成する。

2年度目（R7年度）　△△欠損○○モデル動物（マウス）を開発し、性状を検証する。

3年度目（R8年度）　○○モデル動物の□□の△△に対する作用を検証する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 3 | 研究開発分担者 氏名 | 〇〇　〇〇 |
| 所属機関・所属部局・役職 | 〇〇〇〇〇 |
| 分担研究開発課題名 | 〇〇〇〇〇〇〇 |

**＜分担研究開発課題における背景＞**

・研究開発提案書「1. 研究の背景・目的」の「研究の目的・趣旨、必要性及び特色・独創的な点」に記載した内容をふまえ、分担研究開発課題の背景※を記載してください。

※自身が担当する分担研究開発課題の目的を定めるにあたり考慮した科学的・社会的背景、それらの背景から目的を定めるに至った経緯を記載してください。

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**＜研究開発の目的＞**

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**＜研究開発の内容・方法＞**

1年度目（R6年度）

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2年度目（R7年度）

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

3年度目（R8年度）

本項目は必ず10.5ポイントで記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**＜年度別 研究開発項目の達成目標＞**

1.研究開発項目ごとに、マイルストーン（達成しようとする研究開発の到達点・達成事項）を記載してください。

2.本項の内容は、研究開発提案書「6. 研究開発の主なスケジュール」の内容と対応したものとしてください。

別紙4

**その他審査に必要な項目**

【1. 関連学会等について】※必要に応じ、適宜、行を追加してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ・連携する学会、研究グループ等がある場合、その具体的な連携内容について記載してください。 | |
| 学会名、研究グループ名 | 本研究開発提案において連携する内容 |
| 日本○○学会 | ○○○○○のガイドラインへの反映 |
| 厚労省政策研究「□□□に関する疫学研究」班 | △△感染症の臨床データ提供と治療法の提案 |

【2. 協力体制について】※下記の体制が整備されている際には、詳細を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 疫学・生物統計家の関与 | 無（理由：　　　　　）  　有  （主な関与：研究企画立案(データ取得前)から　統計処理(データ取得後)のみ）  氏名：○○ ○○　所属/役職：○○○○大学　●●学部公衆衛生学教室　教授 |
| 2. 本研究成果に係る  知的財産の管理担当者 | 無  　有  氏名：○○ ○○　所属/役職：○○○○大学　知的財産管理部　部長 |

【3. 倫理面への配慮】　　　※該当するものにチェックを入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 遵守すべき研究に関係する指針等 | |
| 再生医療等の安全性の確保等に関する法律  　遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律  　臨床研究法  　医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令  　遺伝子治療臨床研究に関する指針  　研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針  　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針  　その他の指針等(指針等の名称:　　　)  　該当無し | |
| 2. 本研究開発期間中に予定される臨床研究の有無 | |
| 有　　　無  「有」の場合は、予定される内容及び倫理委員会の通過状況を記載してください。 | |
| 対象疾患 | 予定される内容、実施時期、倫理委員会の通過状況 |
| △△感染症 | △△の疫学調査、R5年XX月～XX年XX月、  RX年X月に●●●病院における倫理委員会を通過（番号：IRB-YYYY） |
|  |  |

【4. 対象製品等について】

※医薬品・医療機器・再生医療等製品の開発等を行う場合に記載してください。記載可能な対象製品がない場合には、「1. 対象製品またはプロトタイプの名称・内容など」の欄に「該当なし」と記載してください。

※対象製品等の数により適宜、表を追加してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 対象製品またはプロトタイプの名称・内容など | ○○○○○○ | |
| 2. 対象製品または プロトタイプの入手方法 | ○○社より提供 | |
| 3. 薬事承認状況 | 海外においては、△△感染症について承認済み。□□病、××症については未承認。  国内においてはいずれの疾患についても未承認。 | |
| 4. 薬事開発ステージ  （提案時） | 非臨床試験以前  非臨床試験（毒性、薬理、薬物動態試験）  第I相試験（忍容性確認試験）　 第IIa相試験（POC試験）  第IIb相試験（用量設定試験）　 第III相試験（検証的試験） | |
| 5. 企業の協力の有無  （予定を含む） | 有　 無  「有」の場合(内容：○○社より非臨床用○○及び概要書の提供を受けている。) | |
| 6. 導出先の有無  （予定を含む） | 有　 無  「有」の場合(内容：○○社が薬事承認申請を行うことを予定している。) | |
| 7. 計画実施のため許認可を要する法律の有無 | | |
| 有　　　無  「有」の場合は、該当する法律と対応状況を以下に記載してください。 | | |
| 該当する法律 | | 対応状況 |
| 例：遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律 | | 例：厚生労働大臣及び環境大臣承認済み（第一種使用等） |
|  | |  |
|  | |  |
|  | |  |
| 8. PMDA事前面談・対面助言 | | 面談実施済（内容：[例]事前面談実施済み。対面助言をXXXX年XX月頃実施予定。）  面談未実施（理由：　　　　　） |
| 9. オーファン指定制度 | | 既に指定を受けている  申請中または申請を予定している  申請する予定はない |

【５．保有する技術等について】

※医薬品・医療機器・再生医療等製品の開発等を行う場合に記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. 保有する技術等の名称・内容など | ○○○○○○ | |
| 2. 保有する技術等の入手方法 | 例：本研究グループで開発 | |
| 3. 企業の協力の有無  （予定を含む） | 有　 無  「有」の場合(内容：○○社より非臨床用○○及び概要書の提供を受けている。) | |
| 4. 導出先の有無  （予定を含む） | 有　 無  「有」の場合(内容：○○社が薬事承認申請を行うことを予定している。) | |
| 5. 計画実施のため許認可を要する法律の有無 | | |
| 有　　　無  「有」の場合は、該当する法律と対応状況を以下に記載してください。 | | |
| 該当する法律 | | 対応状況 |
| 例：遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律 | | 例：厚生労働大臣及び環境大臣承認済み（第一種使用等） |
|  | |  |

応募様式1

e-Radでの応募を完了するためには、e-Rad画面において、以下の「個別項目」を入力する必要があります。下表に必要項目を記載してください。採択可否等に関する連絡の宛先となりますので、正確に記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究開発  代表者 | 氏名 | ○○ ○○ |
| 法人名・所属機関名 | ○○法人○○大学 |
| 部局名 | ○○学部○○学科 |
| 所属機関 郵便番号 |  |
| 所属機関 住所 |  |
| E-mail |  |
| 電話番号 |  |
| 事務担当者  （所属機関の契約に関する事務担当者） | 氏名 | ○○ ○○ |
| 部局名 | ○○○○大学管理部○○課 |
| E-mail | YYY@YY.jp |
| 電話番号 | XX-XXXX-XXXX |